SONY®

2-178-480-**01** (1)
7819900763

DVD/CD
リライタブルドライブ

取扱説明書・保証書（保証書は裏表紙に印刷されています。）

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。









DRX-700UL

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

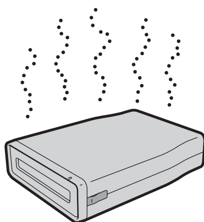
以降の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐに修理窓口、または販売店にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- **煙が出たら**
- **異常な音、においがしたら**
- **内部に水、異物が入ったら**
- **製品を落としたりキャビネットを破損したとき**





❶ 電源を切る。

❷ 電源コードや AC アダプター、インターフェースケーブルを抜く。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号


注意


火災


感電

行為を禁止する記号


禁止


分解禁止

行為を指示する記号


プラグをコンセントから抜く

目次

はじめに

同梱品を確認する 7
本機の特長 8
必要なシステム構成 8
各部の名称とはたらき 10

セットアップ

ドライブを設置する 12
縦置きにして使う 12
横置きにして使う 12
i.LINK でコンピューターに接続する 13
接続する前に 13
本機を取り付ける 14
本機を取りはずす 16
i.LINK（アイリンク）について ... 17
USB でコンピューターに接続する 20
接続する前に 20
本機を取り付ける 20
本機を取りはずす 22
Hi-Speed USB（USB2.0 準拠）について 23

操作

ソフトウェアについて 24
付属ソフトウェアの一覧 24
市販ソフトウェア製品のご使用について 25
DVD や CD の内容を表示する ... 25
使用可能なディスクについて ...26
推奨する記録用ディスク製品 28
いろいろな記録用ディスクの特長 29
ディスクの読み書きについてのご注意 33
本機の性能を発揮するために ...35
高速で書き込みを行う 35
ファームウェアをアップデートする 35

その他

使用上のご注意 36
主な仕様 37
製品サポートのご案内 38
ユーザーサポートウェブページのご案内 38
ファームウェア／ソフトウェアのアップデート 38
お問い合わせ先 38
保証書とアフターサービス 39
保証書 39
アフターサービス 39







下記の注意を守らないと、火災や感電により死亡や大けがにつながることがあります。

電源コードやACアダプターを傷つけない



電源コードやACアダプターを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 本機と机や壁などの間にはさみこんだりしない。
- 加工･分解したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。

万一、電源コードやACアダプターが傷んだら、修理窓口、または販売店に交換をご依頼ください。付属のコードセットは本製品以外に転用しないでください。

直射日光のあたる場所や、熱気、油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない



上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。本書に記されている使用条件以外の環境でのご使用は、火災や感電の原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない



水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、修理窓口、または販売店にご依頼ください。

内部を開けない



開けたり改造したりすると、レーザー光線による視力障害や、火災、感電の原因となることがあります。内部の点検、修理は修理窓口、または販売店にご依頼ください。

付属の電源コードやACアダプター以外は使用しない



発煙･火災の原因となることがあります。

⚠注意

下記の注意を守らないと、けがをしたり、周辺の物品に損害を与えることがあります。

電源コード・AC アダプター取り扱いのご注意


注意

- プラグについたホコリなどは定期的に取りのぞく
- ぬれた手で触らない
- プラグは根元までさしこむ
- たこ足配線をしない
- 雷が鳴り出したら触らない

割れたディスクやヒビの入ったディスクを使用しない


禁止

高速回転時に内部でディスクが破壊されて破片が飛び出し、けがの原因となります。

パソコンに接続するとき、移動させるとき、長時間使用しないときは電源コードや AC アダプターを抜く


プラグをコンセントから抜く

接続したまま移動させると、接続している機器が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。
長時間使用しないときは、安全のために電源コードや AC アダプターのプラグをコンセントから抜いてください。

レーザー安全基準について

この装置は、レーザーに関する安全基準（IEC60825-1）クラス 1 適合の DVD/CD リライタブルドライブです。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

- Power-Burn、および Power-Burn conformed はソニー株式会社の商標です。
- Pentium は、米国 Intel Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Microsoft、および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では ™、® マークは明記していません。

□ 弊社による製品保証は、同梱付属品（ソフトウェア含む）を使用し、指定または推奨するシステム環境を満足し、かつ説明書に従う正常なご使用の場合において、DVD/CD リライタブルドライブ本体に限り有効です。また、ユーザーサポートなどの弊社サービスについても、製品保証と同等の使用条件に限り対応致します。

□ 本製品のご使用による、パソコン本体や他の機器の不具合、特定のハードウェア・ソフトウェア・周辺機器に対する適性、またインストールされたソフトウェア相互の適正などに起因する動作障害、データやディスクの損失、あるいは他の偶発的または必然的な損害に対しては、弊社では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

□ 保証およびユーザーサポートは、本書の保証書に記載された国または販売地域においてのみ有効です。

□ 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。

□ 本機または本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。

□ 本機に付属のソフトウェアは、本機以外には使用できません。

□ 本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

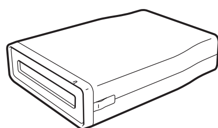
著作権にご注意ください

ディスクにデータを記録する前に、その行為が著作権法に違反していないかご確認ください。他の人が制作したものや市販のソフトなどを著作権者の許可なくコピーすることは、法律で禁止されており、こうした行為は処罰の対象となる場合があります。なお、お客さまご自身が制作したデータは、本機を使って自由にコピーすることができます。

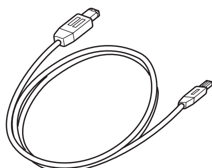
同梱品を確認する

梱包箱から取り出したら、ドライブと以下の付属品がそろっているか確認してください。
万一、不足しているものがあったり損傷しているものがあるときには、お買い上げの販売店にご相談ください。

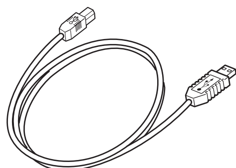
- ドライブ本体



- i.LINK ケーブル（6 ピン－ 4 ピン）× 1



- Hi-Speed USB対応USBケーブル × 1



- AC 電源コード
- AC アダプター（MPA-AC1）
- スタンド
- クイックスタートガイド
- 取扱説明書・保証書（本書）
- ソフトウェアディスク

ご注意

ソフトウェアディスクは、必ず、ディスクなどにバックアップをとっておいてください。
万一、紛失や破損した場合も、ソフトウェアディスク単体での販売はいたしかねますので、ご了承ください。

本機の特長

この製品には、次の特長があります。

- □ i.LINK（IEEE1394）インターフェースと、Hi-Speed USB（USB 2.0 準拠）インターフェースを装備したデュアルインターフェースのコンピューター外付け型 DVD/CD RW ドライブです。
- □ 縦置き、横置きのどちらでも使えます。
- □ DVD+R Double Layer ディスクへの書き込みに対応しています。
- □ 高速書き込みに対応する DVD±R ディスクを使用することで、最大 8 倍速の書き込みができます。
- □ 1 台で 7 種類のメディアへの書き込みに対応しています。
- □ バッファーアンダーランエラーの発生を防ぐ、Power-Burn conformed が搭載されています。

必要なシステム構成

本機をご使用になるには、以下のシステムが必要です。[1)]

- □ PC/AT 互換パソコン
- □ CPU：Pentium III ／ 800 MHz 以上（Nero Vision Express: Pentium 4 ／ 1.6 GHz 以上）
- □ RAM：128 MB（Windows XP：256 MB）以上
- □ ハードディスク空き容量：1 G バイト以上（Nero Vision Express: 10 G バイト以上）
- □ OS：
  Windows 2000 Professional（Windows 2000）、
  Windows XP Home Edition および Windows XP Professional (Windows XP)
- □ i.LINK コネクターまたは USB コネクターがあること

1) このシステム構成は、標準的な書き込み動作を想定した目安です。実際に本機を使用するには、お使いのソフトウェアで指定された条件も満たす必要があります。詳しくは、ソフトウェアの取扱説明書やヘルプをご覧ください。

ご注意

- DVD+R/-R の 8 倍速、DVD+R/+RW/-R/-RW の 4 倍速、DVD-RW の 2 倍速、CD-RW の 10 倍速以上の書き込みには、それぞれの速度に対応したディスクが必要です。
- 実際の書き込み速度は、ディスクの対応速度、ディスクの形状や重心の片寄りなどによって左右される場合があります。

- 本機をHi-Speed USB（USB 2.0準拠）に対応して動作させる場合は、下記のシステムが必要です。
  – Hi-Speed USB（USB 2.0準拠）対応のUSBインターフェースケーブル（同梱）
  – Hi-Speed USB（USB 2.0準拠）対応のUSBコネクターやPCIアダプターカードを搭載し、かつUSB 2.0EHCIドライバソフトウェア[1]がインストールされたコンピューター

    [1] USB 2.0EHCIドライバソフトウェアは、現在市販されているUSB 2.0準拠PCIアダプターカード製品などに付属しています。また、MicrosoftよりWindows XP用のUSB 2.0EHCIドライバソフトウェアが公開されていますので、Windows XPをご使用の場合はこちらを利用することもできます。

    詳しくは、ご使用のUSB 2.0アダプター製品の発売元にご確認ください。また、Microsoft社のホームページをご覧ください。
- Hi-Speed USBに対応していない製品に接続した場合は、転送速度が最大12 Mbps（USB 1.1相当）に制限されます。
- i.LINKインターフェースとUSBインターフェースを同時に使用することはできません。

動作対象外のソニー製コンピューター「VAIO」について

下記の機種では、インストールされているWindowsのバージョンにかかわらず、DRX-700ULをi.LINKケーブルで接続して、使用することはできません。

日本向け製品：

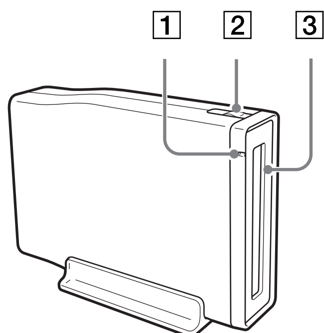
PCG-F34/BP、PCG-Z505JL、PCG-Z505J/BP、PCG-Z505JX

北米向け製品：

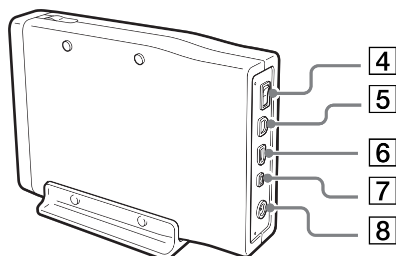
PCG-F360、PCG-F350、PCG-F340、PCG-Z505R、PCG-Z505RX

各部の名称とはたらき

前面



背面



1 ビジーインジケーター

本機の状態を示します。
点灯(緑色):電源オン
点灯(オレンジ色):
読み出し、音楽 CD の再生、書き込み(パケットライト)中など
点滅(緑色 / オレンジ色):
書き込み(ディスクアットワンス、トラックアットワンス)中など
消灯:電源オフ

2 イジェクトボタン

ディスクトレイを開閉します。

3 ディスクトレイ

ラベル面を上にして、ディスクをセットします。

ヒント

ディスクはツメ（4 か所）の下にセットします。本機を縦置きにしているときは、下側のツメの内側にディスクをセットしてください。

4 電源スイッチ

本機の電源を入／切します。
(製品によっては、電源スイッチは前面にあります。)

5 USB コネクター

USB ケーブルでコンピューターまたは他の USB 機器に接続します。

6 i.LINK S400 コネクター(6 ピン)

i.LINK ケーブルでコンピューターまたは他の i.LINK 機器に接続します。

7 i.LINK S400 コネクター(4 ピン)

i.LINK ケーブルでコンピューターまたは他の i.LINK 機器に接続します。

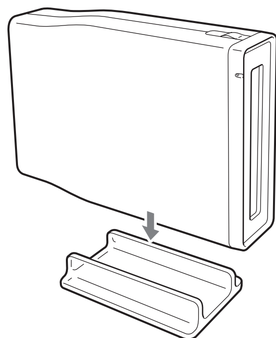
8 DC IN コネクター

付属の AC アダプターに、付属の AC 電源コードを接続します。AC アダプターを本機の DC IN コネクターに接続したあと、AC コンセントに接続します。

ドライブを設置する

縦置きにして使う

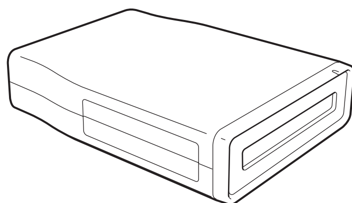
本機を縦置きにして使用するときは、付属のスタンドを図のように取り付けます。



本体底面の防振ゴム 2 か所をスタンドで挟み込むようにして、奥まで押し込みます。

横置きにして使う

本機を横置きにして使用するときは、図のように置きます。



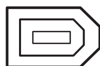
i.LINK でコンピューターに接続する

ご注意

この商品は同梱アプリケーションを含めて、Windows XP、Windows 2000 の OS 環境で動作します。
その他の OS 環境ではこの商品の仕様通りの性能・機能が満たされない場合があります。

接続する前に

- 「同梱品を確認する」（7 ページ）を参照し、同梱品がすべて揃っているかどうか確認してください。
- コンピューター本体に i.LINK コネクターが装備されていない場合、i.LINK インターフェースカードを取り付けてください。
- コンピューター側の i.LINK コネクターの規格を確認の上、i.LINK ケーブルを用意してください。本機の i.LINK コネクターは 6 ピンおよび 4 ピンです。


i.LINK S400 **コネクター**（6 **ピン**）


i.LINK S400 **コネクター**（4 **ピン**）

- コンピューター本体の取扱説明書を用意してください。
- 複数の i.LINK 対応機器を接続する場合は、「i.LINK での接続について」（18 ページ）をご覧ください。

本機を取り付ける

ここでは、一般的なコンピューターとの接続について説明します。

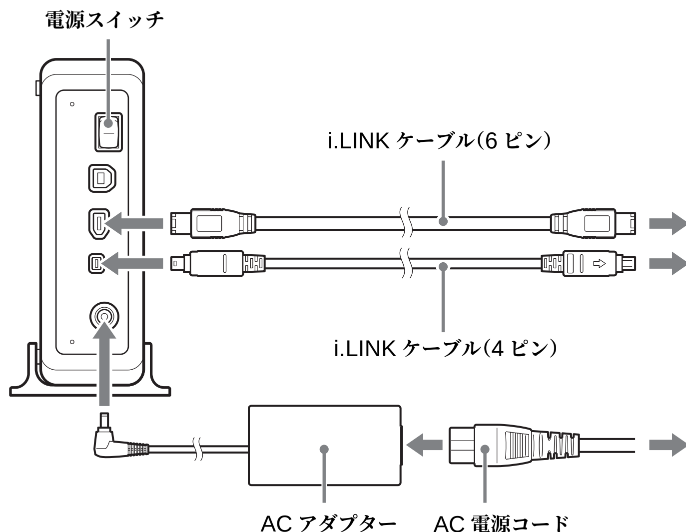
ご注意

- 本機のコネクター部分やコンピューター内部の基板や電子部品には直接手を触れないでください。人体の静電気によって部品が故障することがあります。
- 接続を行う前に、コンピューター本体の金属部分に触れて静電気を放電してください。

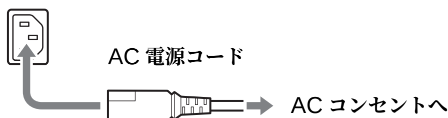
1 **コンピューターを起動する。**

2 **ケーブルを接続し、本機の電源を入れる。**

- コンピューターの i.LINK コネクターの規格に合わせて、i.LINK ケーブルを本機の i.LINK コネクターのどちらかに接続します。
  – コンピューターの i.LINK コネクターが 4 ピンの場合：本機の i.LINK コネクター（6 ピン）へ
  – コンピューターの i.LINK コネクターが 6 ピンの場合：本機の i.LINK コネクター（4 ピン）へ
- 付属の AC アダプターに、付属の AC 電源コードを接続し、AC アダプターを本機の DC IN コネクターに接続したあと、AC コンセントに接続します。



* DC IN コネクターは、製品によってはAC電源コードコネクターが搭載されています。この場合は、付属のAC電源コードをAC電源コードコネクターに接続してください。



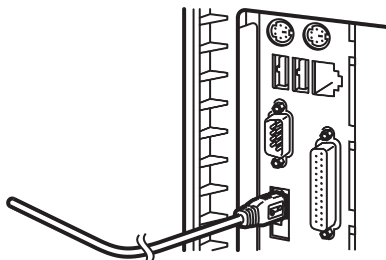
ヒント

- i.LINK ケーブルは、ドライブ背面の2つのi.LINKコネクターの、どちらにでも接続することができます。
- i.LINK 対応機器の数珠つなぎ接続（デイジー・チェーン）については、「i.LINKでの接続について」をあわせてご覧ください。

3 **i.LINK ケーブルのもう片方のコネクターをコンピューターに接続する。**

ご注意

本機はコンピューター側のi.LINKコネクターに直接接続することを推奨します。



4 **本機が認識されることを確認する。**

デスクトップの[マイコンピュータ]をダブルクリックして開き、ドライブのアイコンが追加されていることを確認してください。

5 **付属のソフトウェアディスクを本機に入れ、ライターソフトウェアをインストールする。**

本機を取りはずす

本機の取りはずしかたは、お使いの OS によって異なります。

Windows 2000 をご使用の場合

本機がコンピューターに認識されているときは、ディスプレイ画面右下のタスクトレイにアイコンが表示されます。本機をコンピューターから取りはずす場合は、アイコンを使用します。

1 **アイコンをクリックし、［IEEE 1394 CD-ROM - ドライブ（E:）を停止します］をクリックする。**

「' IEEE 1394 CD-ROM ' は安全に取り外すことができます。」というようなメッセージが表示されます。

2 **［OK］をクリックして画面を閉じる。**

これで、コンピューターから本機を取りはずすことができます。

3 **i.LINK ケーブルを抜く。**

Windows XP をご使用の場合

Windows XP の場合は、起動中のソフトウェアがないこと、および本機の BUSY ランプが消えていることを確認して、i.LINK ケーブルを抜きます。

ご注意

Windows 2000 の場合、 アイコンを使わずに i.LINK ケーブルを抜くと、コンピューターが正常に動作しなくなったり、データが壊れることがあります。必ずここに記載されている手順に従って操作してください。

i.LINK（アイリンク）について

ここでは、i.LINK の規格や特長について説明します。
接続する機器の特性や仕様によっては、下記の説明とは異なった制限がある場合があります。

i.LINK とは？

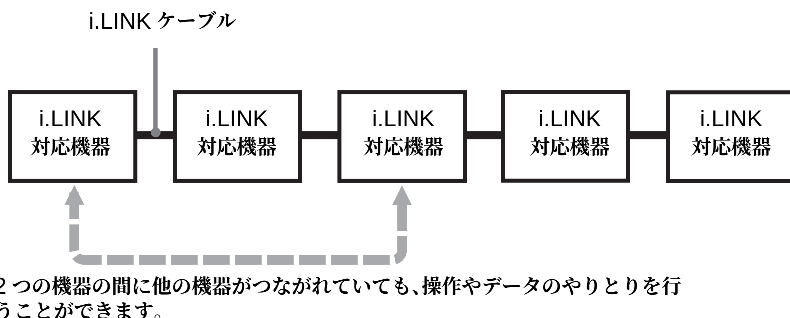
i.LINK は、i.LINK コネクターを持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェイスです。
i.LINK 対応機器は、i.LINK ケーブル 1 本で接続できます。多彩なデジタル AV 機器を接続して、さまざまな操作やデータのやりとりができます。また将来、さらに多様な機器を接続して、操作やデータのやりとりができることが考えられています。
複数の i.LINK 対応機器を接続した場合、直接つないだ機器だけではなく、他の機器を介してつながれている機器に対しても、操作やデータのやりとりができます。このため、機器を接続する順序を気にする必要はありません。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

ヒント

- i.LINK（アイリンク）は IEEE1394 の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。
  IEEE1394 は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。
- 著作権保護に対応した i.LINK 対応機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。
  この技術は、DTLA（The Digital Transmission Licensing Administrator）というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。
  この DTLA のコピー・プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像／音声／データにおいて、i.LINK でのデジタルコピーができない場合があります。
  また、DTLA のコピー・プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、i.LINK でデジタル映像／音声／データのやりとりができない場合があります。

i.LINK での接続について

i.LINK 対応機器は、i.LINK ケーブルで数珠つなぎにして接続します。このような接続のしかたを「デイジー・チェーン」と呼びます。

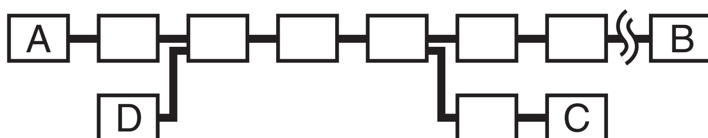


2 つの機器の間に他の機器がつながれていても、操作やデータのやりとりを行うことができます。

途中から分岐してつなぐには

- i.LINK コネクターを 3 つ以上持つ機器の場合、途中から分岐してつなぐこともできます。
- i.LINK 対応機器は、本機を含めて 63 台まで接続できます。ただし、一番長い経路の接続は 17 台までです。（i.LINK ケーブルは、一番長い経路に対して連続して 16 本まで使用することができます。）

ひとつの経路に対して使用した i.LINK ケーブルの数を「ホップ」と呼びます。例えば、下図の A → C の経路は 6 ホップ、A → D の経路は 3 ホップとなります。

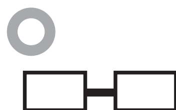


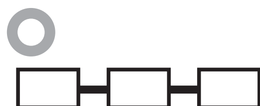
A → B、A → C、A → D、B → C、B → D、C → D、いずれの経路も最大 17 台の機器を接続できます。（最大 16 ホップ）。

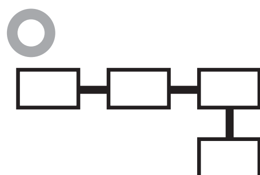
接続が輪にならないようにご注意ください

デジタル信号は、接続したすべての i.LINK ケーブルに流れます。信号を出力した機器に同じ信号が戻らないよう、接続が輪にならないようにつないでください。接続が輪（環状）になることを「ループ」と呼びます。

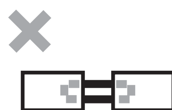
正しい接続例

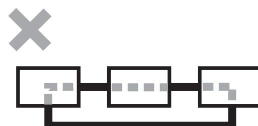


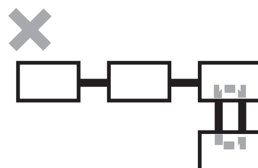




ループの接続例







ご注意

- コンピューターなどの一部の i.LINK 対応機器の中には、電源が切られているとデータを中継しない機器があります。i.LINK での接続の際は、接続する機器の取扱説明書もご覧ください。
- i.LINK 対応機器には、その機器が対応している最大データ転送速度が i.LINK 端子の周辺に表記されています。i.LINK の最大データ転送速度は、約 100 ／ 200 ／ 400 Mbps が定義されており、それぞれ S100、S200、S400 と表記されます。最大データ転送速度が異なる機器を接続した場合や、機器の仕様により、実際の転送速度が表記と異なることがあります。

USB でコンピューターに接続する

ご注意

- この商品は同梱アプリケーションを含めて、Windows XP、Windows 2000 の OS 環境で動作します。
- その他の OS 環境ではこの商品の仕様通りの性能・機能が満たされない場合があります。

接続する前に

- 「同梱品を確認する」（7 ページ）を参照し、同梱品がすべて揃っているかどうか確認してください。
- コンピューター本体に USB コネクターが装備されていない場合、USB インターフェースカードを取り付けてください。
- コンピューター本体の取扱説明書を用意してください。

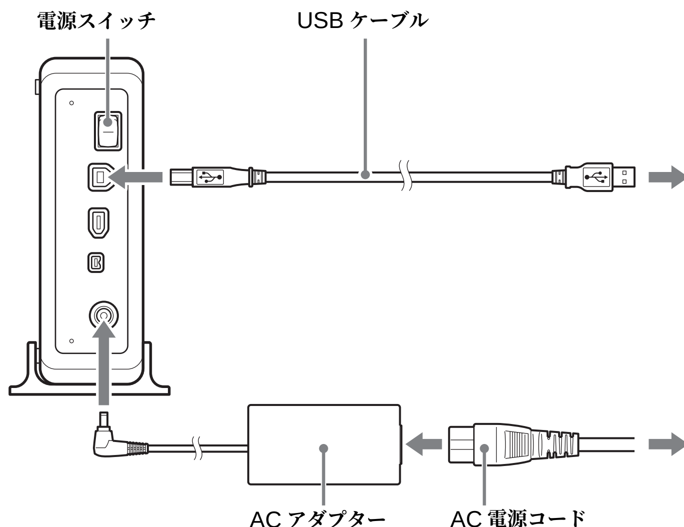
本機を取り付ける

ここでは、一般的なコンピューターとの接続について説明します。接続についてのご注意は「i.LINK でコンピューターに接続する」の「本機を取り付ける」（14 ページ）をご覧ください。

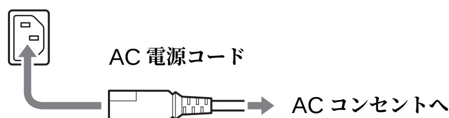
1 **コンピューターを起動する。**

2 **ケーブルを接続し、本機の電源を入れる。**
- USB ケーブルを、本機の USB コネクターに接続します。

• 付属の AC アダプターに、付属の AC 電源コードを接続し、AC アダプターを本機の DC IN コネクターに接続したあと、AC コンセントに接続します。



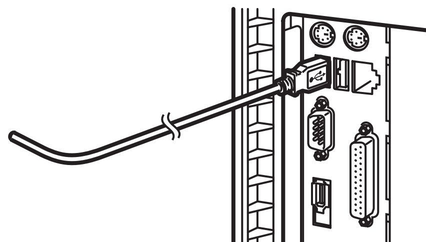
* DC IN コネクターは、製品によっては AC 電源コードコネクターが搭載されています。この場合は、付属の AC 電源コードを AC 電源コードコネクターに接続してください。



3 USB ケーブルのもう片方のコネクターをコンピューターに接続する。

ご注意

本機はコンピューター本体の USB コネクターに直接接続してください。



4 本機が認識されることを確認する。

デスクトップの［マイコンピュータ］をダブルクリックして開き、ドライブのアイコンが追加されていることを確認してください。

5 付属のソフトウェアディスクを本機に入れ、ライターソフトウェアをインストールする。

本機を取りはずす

本機の取りはずしかたは、お使いの OS によって異なります。

Windows 2000 をご使用の場合

本機がコンピューターに認識されているときは、ディスプレイ画面右下のタスクトレイにアイコンが表示されます。本機をコンピューターから取りはずす場合は、アイコンを使用します。

1 アイコンをクリックし、［USB CD-ROM - ドライブ(E:)を停止します］をクリックする。

「'USB CD-ROM' は安全に取り外すことができます。」というようなメッセージが表示されます。

2 ［OK］をクリックして画面を閉じる。

これで、コンピューターから本機を取りはずすことができます。

3 USB ケーブルを抜く。

Windows XP をご使用の場合

Windows XP の場合は、起動中のソフトウェアがないこと、および本機の BUSY ランプが消えていることを確認して、USB ケーブルを抜きます。

ご注意

Windows 2000 の場合、アイコンを使わずに USB ケーブルを抜くと、コンピューターが正常に動作しなくなったり、データが壊れることがあります。必ずここに記載されている手順に従って操作してください。

Hi-Speed USB（USB2.0 準拠）について

本機は、従来の USB1.1 規格より高速なデータ転送を実現する、USB2.0 規格に対応しています。本機を、USB2.0 に準拠した USB コネクターや PCI アダプターカードなどを搭載するコンピューターに接続すれば、ドライブの最大読み出し速度の性能をフルに発揮した、高速データ転送 [1), 2)] が可能です。

1）DVD：16.2 M バイト /s（12 倍速）
CD：6.0 M バイト /s（40 倍速）
2）Hi-Speed USB に対応していない製品に接続した場合は、転送速度が最大 1.5 M バイト /s（USB1.1 相当）に制限されます。

本機を、Hi-Speed USB（USB2.0 準拠）に対応して動作させる場合は、下記のシステムが必要です。

- Hi-Speed USB（USB2.0 準拠）対応の USB インターフェースケーブル（本機に付属）。
- Hi-Speed USB（USB2.0 準拠）対応の USB コネクターや PCI アダプターカードを搭載し、かつ USB2.0EHCI（Enhanced Host Controller interface）ドライバソフトウェアがインストールされたコンピューター [3)]。

3）：USB2.0 EHCI ドライバソフトウェアは、現在市販されている USB2.0 準拠 PCI アダプターカード製品などに付属しています。また、Microsoft より Windows XP 用の USB2.0EHCI ドライバソフトウェアが公開されていますので、Windows XP をご使用の場合はこちらを利用することもできます。[4)]
4）詳しくは、ご使用の USB2.0 アダプター製品の発売元にご確認ください。また、Microsoft 社のホームページをご覧ください。

ソフトウェアについて

DVD や CD を作成したり、DVD を再生するには、付属のソフトウェアを使います。目的に合ったものをお使いください。
ソフトウェアの操作については、各ソフトウェアの取扱説明書やヘルプをご覧ください。

付属ソフトウェアの一覧

付属のソフトウェアディスクには、以下のソフトウェアが収録されています。

Nero StartSmart

nero6 に含まれるソフトウェアをすばやく簡単に起動するためのランチャーです。

Nero Burning ROM SE

高機能 CD ／ DVD ライティングソフトウェアです。

Nero Express

Nero Burning ROM の簡易版ソフトウェアです。より簡単に CD ／ DVD を作成できます。

InCD4

パケットライティングソフトウェアです。DVD+RW、DVD-RW、CD-RW に対応しています。

Nero Vision Express 2

DVD ビデオやビデオ CD を作成するためのオーサリングソフトウェアです。

Nero ShowTime

DVD ビデオやビデオ CD の再生ソフトウェアです。

Nero Wave Editor

オーディオファイル編集ソフトウェアです。WAV、MP3、WMA などの音声ファイルを編集できます。

Nero Cover Designer

CD レーベル／ジャケット作成ソフトウェアです。

Nero Toolkit
ドライブ用ユーティリティです。ドライブ性能計測ソフトウェア「Nero CD-DVD Speed」、ドライブ速度制御ソフトウェア「Nero Drive Speed」、システム情報／ドライブ情報確認ソフトウェア「Nero InfoTool」で構成されています。

市販ソフトウェア製品のご使用について

- 製品に付属しているソフトウェア以外（市販のソフトウェア、シェアウェア、フリーウェアなど）を書き込みに使用した場合は、保証およびユーザーサポートの対象外となります。あらかじめご了承ください。
- 製品に付属しているライティングソフトウェアと市販のライティングソフトウェアを同時にインストールしないでください。特に、パケットライティングソフトウェア[*1]を同時にインストールすると動作が不安定になることがあります。
- 市販のソフトウェアで本機が正しく認識されない場合には、ソフトウェアの販売・開発元のWebサイトからアップデートを行ってください。不具合が改善することがあります。

[*1] Drag-to-Disc（Roxio)、B's CLIP(BHA)、DLA(Sonic)など

DVDやCDの内容を表示する

ディスクによっては、本機にセットすると自動的に再生がはじまります。または、Windowsの［マイコンピュータ］を開いて本機のアイコンをダブルクリックすると（または右クリックして［開く］を選ぶと)、ディスクに記録されているファイルやフォルダーが表示されます。

使用可能なディスクについて

本機では、以下のディスクを使用できます。

DVD

ディスクの種類	マーク	読み込み	書き込み	書き込み速度 [*1]
DVD+R	RW DVD+R	○	○	1 ～ 8 倍速
DVD+R　DL (Double Layer)	RW DVD+R DL	○	○	1 ～ 2.4 倍速
DVD+RW	RW DVD+ReWritable	○	○	1 ～ 4 倍速
DVD-R	DVD R	○	○	1 ～ 8 倍速
DVD-RW	DVD RW	○	○	1 ～ 4 倍速
DVD-ROM	DVD ROM	○	—	—
DVD-Video	DVD VIDEO	○	—	—

*1 本機（DVD/CD リライタブルドライブ）が対応する書き込み速度。お使いのソフトウェアやディスクによっては書き込み速度が制限される場合があります。

CD

ディスクの種類	マーク	読み込み	書き込み	書き込み速度
CD-R	COMPACT disc Recordable	○	○	ディスクに示された対応速度（最大 40 倍速）
CD-RW	COMPACT disc ReWritable	○	○	ディスクに示された対応速度（最大 4 倍速）
CD-RW (High Speed)	COMPACT disc ReWritable High Speed	○	○	ディスクに示された対応速度（最大 10 倍速）
CD-RW (Ultra Speed)	COMPACT disc ReWritable Ultra Speed	○	○	ディスクに示された対応速度（最大 24 倍速）
CD-ROM	COMPACT disc	○	—	—
CD-DA（音楽 CD）	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	○	—	—
CD Extra	CD EXTRA TM	○	—	—
Video CD（ビデオ CD）	VIDEO CD	○	—	—
CD TEXT	CD TEXT	○	—	—

ディスク径	読み込み	書き込み
12 cm	○	○
8 cm	○	—

ご注意

- 円形ディスクのみご使用ください。円形以外の特殊な形状（星型、ハート型、カード型など）のディスクを使用すると、本機の故障の原因となりますので使用しないでください。
- 99 分 CD-R/RW ディスクの書き込み、および読み込みについては動作の保証をしておりません。
- 8 cm ディスクは横置きでのみ対応します。

操作

推奨する記録用ディスク製品

本機での書き込みには、動作確認済みディスク製品のご使用をおすすめします。動作確認済みディスク製品の最新情報は、ユーザーサポートウェブページでご案内しています。

ユーザーサポートウェブページを見るには

付属のソフトウェアディスクをドライブにセットし、表示される画面で言語を選択して、［ユーザーサポートウェブページ］をクリックします。

◆ **ウェブブラウザに URL を直接入力する場合は、以下の URL を入力してください。**
http://www.sony.co.jp/dvd_cd-rw/

ご注意

各種フォーマットを定める規格書に準拠したディスクは、ほとんどの場合、本機との相性を意識する必要なくお使いになれます。ただし、市販の製品のなかには規格上の品質や性能を満たさないものもあります。そのようなディスクを使用すると、ドライブが自動的に書き込み速度を制限したり、書き込みエラーが発生したり、正常に書き込み終わったディスクでも読み出し時にエラーが発生するなど、不具合が起こる場合があります。

いろいろな記録用ディスクの特長

本機は、さまざまな規格のディスクに書き込むことができます。表を参考に、目的に合ったディスクをお使いください。

	DVD+R DVD+R DL	DVD+RW	DVD-R	DVD-RW	CD-R	CD-RW
多くのドライブやプレーヤーで再生できるDVD-Videoを作りたい	○		○			
ディスクに記録したあとでメニューや映像の編集ができるDVDを作りたい		○		○		
手軽に映像を追記できるDVDを作りたい		○				
多くのパソコンで再生できるVideo CDを作りたい					○	
DVDをビデオテープの代わりに使いたい（あとで書き換えたい）		○		○		
700 Mバイトを超える大量のデータを配布したい（DVD-ROMディスクを作りたい）	○		○			
多くのパソコンで利用できるデータを配布したい（CD-ROMディスクを作りたい）					○	
CDプレーヤーで再生できる音楽CDを作りたい					○	
ハードディスクのデータをバックアップしたい		○		○		
データを消さずに保存しておきたい	○		○		○	
データを蓄積しておき、フロッピーディスクのように書き換えたい		○		○		○

ヒント

本機で書き込みを行ったディスクは、それぞれの規格に対応したドライブやプレーヤーで再生できます。ただし、ドライブやプレーヤー、ディスクの品質や諸特性の差により、組み合わせによっては、まれに再生ができないことがあります。再生に使用する機器の説明書もあわせてご覧ください。

CD-R ディスクと CD-RW ディスク

本機は、CD-R ディスクへの書き込みと、CD-RW ディスクへの書き込みができます。
これらディスクへの書き込みには、ライターソフトウェアを使用します。
書き込んだディスクを他の CD-ROM ドライブなどで再生（データの読み出し）するには、ライターソフトウェアで書き込むときに目的に応じた設定を行います。

CD-R ディスクとは

1 度だけデータを書き込めるディスクです。1 度書き込まれたデータは消去することができません。CD-R ディスクで音楽 CD を作成したものは、一般の CD プレイヤーで再生することができます。

CD-RW ディスクとは

データを書き込んだり、消去することができるディスクです。目安として、未使用の CD-RW ディスクで約 1000 回のディスク全体の書き換えができます。
CD-RW ディスクで音楽 CD を作成したものは、一部の CD-RW 対応機種を除き、一般の CD プレイヤーで再生することができません。

High Speed CD-RW ディスクについて

High Speed CD-RW ロゴの付いたドライブでは、High Speed CD-RW ディスクに書き込みを行うことができます。High Speed CD-RW ディスクに書き込んだディスクは、一般の CD-ROM ドライブなどで再生することができます。

ご注意

High Speed CD-RW ディスクには、High Speed CD-RW ロゴの付いたドライブ以外では書き込みが行えません。追記や書き込みを行う場合は、必ず High Speed CD-RW ロゴの付いた製品を使用してください。
また、必ず High Speed CD-RW ディスクに指定された書き込み速度に設定して書き込みを行ってください。

Ultra Speed CD-RW ディスクについて

Ultra Speed CD-RW ロゴの付いたドライブでは、Ultra Speed CD-RW ディスクおよび High Speed CD-RW ディスクに書き込みを行うことができます。書き込んだディスクは、一般の CD-ROM ドライブなどで再生することができます。

ご注意

Ultra Speed CD-RW ディスクには、Ultra Speed CD-RW ロゴの付いたドライブ以外では書き込みが行えません。追記や書き込みを行う場合は、必ず Ultra Speed CD-RW ロゴの付いた製品を使用してください。また、必ず Ultra Speed CD-RW ディスクに指定された書き込み速度に設定して書き込みを行ってください。

書き込み速度について

CD-R ディスク、CD-RW ディスクへの書き込みは、ディスクに指定されている書き込み対応速度に設定して行ってください。書き込み速度の設定の変更は、ライターソフトウエアで行います。

ディスクの再生(読み出し)について

本機で作成した CD-R ディスクや CD-RW ディスクは、ほとんどの CD-ROM ドライブで再生することができます。ただし、古いタイプの CD-ROM ドライブには CD-RW ディスクの再生に対応していない機種があります。
また、本機で作成しファイナライズ処理をした音楽 CD-R ディスクは、ほとんどの CD プレイヤーで再生することができます。ただし、一部の CD プレイヤーや車載用の CD プレイヤーには、音楽 CD-R ディスクの再生を保証していない製品もあります。
なお、使用する CD-ROM ドライブ、CD プレイヤー、CD-R ディスク、CD-RW ディスクのメーカー間における品質や諸特性の差により、組み合わせによっては稀にディスクの再生ができないことがあります。

記録用 DVD ディスク

本機では、DVD+R DL、DVD+R および DVD-R ディスクへの書き込みと、DVD+RW および DVD-RW ディスクへの書き替えができます。
本機で書き込まれたデータを他の DVD-ROM ドライブや DVD プレイヤーで再生（データの読み出し）する場合、ディスクにデータを書き込むときに選択したフォーマットや、DVD-ROM ドライブまたは DVD プレイヤーの性能によっては、再生ができないことがあります。

DVD+R DL/DVD+R/DVD-R ディスクとは

1 度だけデータを書き込めるディスクです。1 度書き込まれたデータは消去することができません。他の DVD-ROM ドライブや DVD プレイヤーでこれらのディスクの再生（データの読み出し）を行う場合、ディスクにデータを書き込むときに選択したフォーマットや、DVD-ROM ドライブまたは DVD プレイヤーの性能によっては、再生ができないことがあります。

DVD+RW/DVD-RW ディスクとは

データを書き込んだり消去したりすることができるディスクです。目安として、未使用の DVD+RW/DVD-RW ディスクで約 1000 回のディスク全体の書き換えができます。
他の DVD-ROM ドライブや DVD プレイヤーでこれらのディスクの再生（データの読み出し）を行う場合、ディスクにデータを書き込むときに選択したフォーマットや、DVD-ROM ドライブまたは DVD プレイヤーの性能によっては、再生ができないことがあります。

ディスクの再生（読み出し）について

本機で作成しファイナライズ処理をした DVD+R DL/DVD+R/DVD-R ディスクや DVD+RW/DVD-RW ディスクは、ほとんどの DVD-ROM ドライブで再生することができます。ただし、DVD-ROM ドライブの機種によっては、DVD+R DL ディスクや DVD+RW ディスク、DVD-RW ディスクの再生に対応していないものもあります。
また、マルチセッション（DVD+R DL/DVD+R/DVD+RW）、マルチボーダー（DVD-R/DVD-RW）に対応していない DVD-ROM ドライブもあり、この場合は、シングルセッション（DVD+R DL/DVD+R/DVD+RW）、シングルボーダー（DVD-R/DVD-RW）のディスクしか再生できません。
また、本機で作成した DVD-Video ディスクは、多くの DVD プレイヤーで再生することができます。ただし、DVD プレイヤーの機種によっては、DVD+RW ディスクや DVD-RW ディスクの再生に対応していないものもあります。
なお、使用する DVD-ROM ドライブ、DVD プレイヤー、DVD+R DL/DVD+R/DVD-R ディスク、DVD+RW/DVD-RW ディスクのメーカー間における品質や諸特性の差により、組み合わせによってはディスクの再生ができないことがあります。（再生の互換性を保証するものではありません。）

ディスクの読み書きについてのご注意

書き込み速度について

- 高速書き込みを行うには、各速度に対応したディスクが必要です。
- 書き込み速度の設定は、書き込みに使用するソフトウェアで行います。設定方法については、ソフトウェアの取扱説明書やヘルプをご覧ください。
- 書き込み速度は、使用するディスクの品質に合わせて自動的に減速される場合があります。また、パソコンの転送速度性能によって自動的に書き込み速度が制限される場合があります。

操作

DVD のリージョンコード（地域番号）について

DVD-Video はリージョンコード＊の設定によって、再生が保護・管理されています。DVD ドライブを使用して DVD-Video を再生するには、以下のすべてのリージョンコードが一致している必要があります。

- ディスクのリージョンコード
- ドライブのリージョンコード
- 再生ソフトウェアのリージョンコード

本機ではリージョンコードの設定を、初回を含めて 5 回まで行うことができます（RPC Phase2 規定）。5 回目の設定後は、リージョンコードが変更できなくなります。この場合、本機で再生できるのは、最後に設定したリージョンコードの DVD-Video だけとなります。
不正にリージョンコードの書き換えを行わないでください。この結果生じた不具合等については、保証対象外となります。
＊Region Playback Control 規格（RPC 規格）

ヒント

本機のリージョンコードの変更は、デバイスマネージャのドライブのプロパティで行うことができます。

DVD 再生時のご注意

DVD-Video はソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機はディスクの内容にしたがって再生を行うため、操作に応じた機能が働かない場合があります。DVD-Video を再生するときは、ディスクに付属している説明書も必ずご覧ください。

DVD のコピープロテクションについて

市販のほとんどの DVD-Video は、コピープロテクトが施されているため、コピーできません。また、コピープロテクトを回避する行為は著作権法に触れますのでご注意ください。

コピーコントロール CD について

本機は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として設計されています。
市販の著作権保護技術付きディスクのなかには、CD 規格に準拠していないものもあります。本機では、これらの CD 規格外ディスクについては動作や音質の保証はいたしかねます。本機を CD プレーヤーとしてお使いになるときは、以下のマークが表示されているディスクをお使いください。
また、これらの音楽 CD のなかには、音楽データの抽出やコピーができないものや、制限されているものがあります。詳しくは、音楽ディスクに付属の説明書をご覧ください。



本機の性能を発揮するために

高速で書き込みを行う

高速書き込みに対応した弊社で動作確認済みのディスク製品をご使用ください。
高速書き込みに対応した弊社で動作確認済みのディスク製品の最新情報は、ユーザーサポートウェブページでご案内しています。
上記以外の高速書き込みに対応したディスク製品を本機でご使用の場合は、書き込み後のディスク読み出し品質を維持するために、ディスクの品質を本機が自動的に判断して書き込み速度を制限することがあります。

ファームウェアをアップデートする

本機では、最新ファームウェアをアップデートして使用することをおすすめします。最新ファームウェアにアップデートすることで、書き込みや読み出しの性能が向上することや不具合が改善することがあります。
最新ファームウェアがユーザーサポートウェブページで公開されているかどうかをお確かめください。

ヒント

- ファームウェアとは、ドライブの中に組み込まれていて、ドライブ本体を動かすソフトウェアのことです。
- ユーザーサポートウェブページについては 38 ページをご覧ください。

使用上のご注意

使用・保管場所について

湿気の多いところや温度の高いところ、激しい振動のあるところ、直射日光の当たるところで使用したり保管しないでください。

輸送について

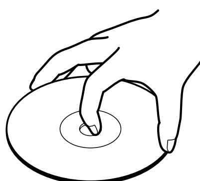
本機を単独で輸送する場合は、お買い上げ時の梱包箱を使用してください。本機や本機を搭載したパソコンを移動するときは、その前に必ずディスクを取り出してください。

結露現象について

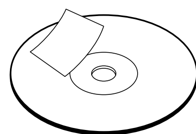
急激な温度変化は避けてください。寒いところから暖かいところに移したり、室温を急に上げた直後は使わないでください。内部に結露が生じている場合があります。使用中に急激に温度が変化した場合は、電源を入れたまま使用を中止して 1 時間以上待ち、それから電源を切ってください。

ディスクの取り扱いについて

- ディスクは外縁を支えるようにして持ちます。記録面に触れないでください。



- ディスクに紙などを貼ったりしないでください。



- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房機具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- 大切なデータを守るため、ディスクは必ずケースなどに入れて保管してください。
- 記録用ディスクは、データを記録する前には絶対にクリーナーで拭かないでください。ほこりなどの汚れは、ブロワーを使って吹き飛ばしてください。
- 記録用ディスクの未記録部分にキズやほこりがあると正しいデータが記録できないことがあります。取り扱いには充分ご注意ください。

主な仕様

使用可能なディスク	読み込み（最大速度）	書き込み（最大速度）
DVD+R	8×-CAV	2.4×
DVD+R (4 ×)	8×-CAV	4×
DVD+R (8 ×)	8×-CAV	8×ZCLV
DVD+R Double Layer	6×-CAV	2.4×
DVD+RW	8×-CAV	2.4×
DVD+RW (4 ×)	8×-CAV	4×
DVD-R	8×-CAV	1×
DVD-R (4 ×)	8×-CAV	4×
DVD-R (8 ×)	8×-CAV	8×ZCLV
DVD-RW	8×-CAV	1×
DVD-RW (2 ×)	8×-CAV	2×
DVD-RW (4 ×)	8×-CAV	4×
DVD-ROM	12×-CAV	−
DVD-Video	4×-CAV	−
CD-R	40×-CAV	40×-PCAV
CD-RW	32×-CAV	4×
CD-RW (High Speed)	32×-CAV	10×
CD-RW (Ultra Speed)	32×-CAV	24×-ZCLV
CD-ROM	40×-CAV	−
CD-DA	10×-CAV	−
CD-DA (DAE)	40×-CAV	−
ディスク径 12 cm	○	○
8 cm	○	−

書き込み方式

DVD

ランダムライト

シーケンシャルライト

CD

トラックアットワンス

ディスクアットワンス

セッションアットワンス

パケットライト

ドライブ

データ転送レート

DVD: 16.2 M バイト /s (12 倍速 1))

CD : 6.0 M バイト /s (40 倍速 1))

1) 最大データ転送レートは、パソコンの性能によって異なります。

アクセス時間

平均（ランダムストローク）

DVD：約 130 ms

CD：約 135 ms

バッファーアンダーランエラー防止機能

Power-Burn™
conformed

環境条件

動作温度

5 ℃～ 35 ℃

インターフェース

ドライブインターフェース

IEEE1394 準拠（6 ピンコネクター）× 1

IEEE1394 準拠（4 ピンコネクター）× 1

USB 2.0 準拠（Hi-Speed USB）× 1

バッファ容量

2 M バイト

電源

ドライブ定格入力：

DC 12 V（外部電源ジャック）

消費電流：3.0 A（最大）

AC アダプター定格入力：

AC 100-240 V

(付属の AC コードは AC 100V 用です)

その他

大きさ

約 52 × 164 × 234 mm

（幅／高さ／奥行）

質量

約 1.5 kg（本体のみ）

製品型番（Inquiry）

SONY　DVD RW DRU-700A

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

製品サポートのご案内

ご使用中に問題が起きたり、わからないことがあったら、ユーザーサポートウェブページをご覧ください。

ユーザーサポートウェブページのご案内

ユーザーサポートウェブページでは、以下の情報を公開しています。情報は随時更新しておりますのでぜひご利用ください。

- 本機に関する情報
- 付属ソフトウェアに関する情報
- 最新ファームウェア
- FAQ
- トラブルシューティング情報
- 動作確認済みパソコン一覧
- 動作確認済みディスク製品
- 取扱説明書

など

ユーザーサポートウェブページを見るには

付属のソフトウェアディスクをドライブにセットし、表示される画面で言語を選択して、［ユーザーサポートウェブページ］をクリックします。

◆**ウェブブラウザに URL を直接入力する場合は、以下の URL を入力してください。**
http://www.sony.co.jp/dvd_cd-rw/

ファームウェア／ソフトウェアのアップデート

ファームウェアのアップデートにより問題が解決することがあります。
ユーザーサポートウェブページで本機のファームウェアが公開されているかどうかお確かめになり、ウェブページの説明に従ってアップデートしてください。

お問い合わせ先

この製品の使いかたに関するご相談、本体や付属ソフトウェアに関する技術的なご質問、故障に関するお問い合わせなど、お電話でご相談になる前に、以下で提供している情報をご確認ください。

- ユーザーサポートウェブページ
  http://www.sony.co.jp/dvd_cd-rw/
- 付属ソフトウェアについて
  付属のソフトウェアに関する情報は、ソフトウェアの製造および販売元のホームページでご案内しています。
  それでもご不明な場合、次のページに記載されている相談窓口にお問い合わせください。また、動作の不具合や故障に関するご相談の場合は、次のことをお知らせください。
  - 型名：DRX-700UL
  - 製造番号
  - 製品の購入年月日・ご購入店名
  - ご使用のパソコンのメーカー・型番
  - パソコンの仕様（CPU 速度、メモリー容量など）

- ご使用のソフトウェア
- 不具合時の状態：できるだけ詳しく
- 製品ご使用当初は問題がなかったか、最初からうまく動かなかったか、など

ソニーストレージコール
TEL：0475-58-0931
受付時間
月～金（祝日を除く）
10:00 から 18:00

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。

ご注意

保証およびユーザーサポートは、本書裏表紙の保証書に記載された国または販売地域においてのみ有効です。

アフターサービス

保証期間中の修理は

本書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

部品の保有期間について

当社では DVD/CD リライタブルドライブの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、修理窓口にご相談ください。

修理のご依頼について

本製品の修理をご依頼の際は、製品本体、および付属品一式を、お買い上げ店やサービス窓口にご提供ください。

- 本製品は持ち込み修理対象製品です。故障その他の理由でお買い上げ店やサービス・相談窓口に製品をご提供いただく場合、受け付けまたはご返却に関わる配送費用、製品の取り付けや取りはずし、接続調整などの諸費用はすべてお客様のご負担となります。

DVD/CD リライタブルドライブ DRX-700UL

保証書

持込修理

品名	DVD/CD リライタブルドライブ
型名	DRX-700UL
お買い上げ日	平成・西暦 年 月 日

本書は、本書記載内容(右記記載)で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から下記記載期間中に故障が発生した場合は、お買上げの販売店または最寄りのソニーサービス窓口に修理をお申付けください。

販売店	

ソニー株式会社 東京都品川区北品川6丁目7番35号 〒141-0001
お問合せ先:お客様ご相談センター
ナビダイヤル 0570-00-3311 (全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます)
携帯電話、PHSでのご利用は(03)5448-3311

保障期間	お買上げの日から	1年
お客様住所		電話 - -
お名前		様

無料修理規定

1. 正常な使用状態(取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態)で故障した場合には、お買上げの販売店またはソニーサービスステーションが無料修理させていただきます。ソニーの判断により製品交換させていただくことが有りますのであらかじめご了承ください。
2. 保障期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、お買上げの販売店またはソニーサービス窓口に製品と本書をご持参ご提示の上、お申付けください。
3. ご贈答、ご転居等で本保証書に記入してあるお買上げ販売店に修理がご依頼になれない場合には、お近くのソニーサービス窓口またはソニーお客様ご相談センターにご相談ください。
4. 保障期間内でも次の場合は有料とさせていただきます。
   (1)本書のご提示がない場合
   (2)本書にお買上げの年月日、お客様名、お買上げの販売店名の記入がない場合、および本書の字句を書替えられた場合
   (3)使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障および損傷
   (4)お買上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
   (5)火災、地震、風水害、落雷、その他の転変地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障および損傷
   (6)一般家庭用以外(例えば業務用)での使用による故障および損傷
   (7)消耗した部品の交換
   (8)お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金
5. この保証書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. この保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。

修理メモ	

* この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保障期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、ソニーサービス窓口またはソニーお客様ご相談センターにお問合せください。
* 保障期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

T04-1001A-2

本ドライブの使いかたに関するご相談、本体や付属ソフトウェアに関する技術的なご質問、故障に関するお問い合わせなどは、本書の「製品サポートのご案内」をご覧になった上で、以下にご連絡ください。

ソニーストレージコール

TEL : 0475-58-0931

受付時間
月～金（祝日を除く）
10:00 から 18:00

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

http://www.sony.co.jp/ Printed in China

